

大 麦

福井県で栽培されている麦のほとんどは六条大麦で、この種類では全国1位の作付面積となっています。奥越地域でも、水稲・そばの次に作付が多い作物です。ほとんどは主食用（主に麦飯用）で、一部が麦茶用として利用されています。



文字どおり黄金色の麦秋

1 生産概況

① 生産地

奥越管内全域で生産されています。

作付面積は奥越全体で約800haとなっています。

②栽培の概要

品 種：ファイバースノウ

作 型：10月に播種し越冬、6月初旬～中旬にかけて収穫

そ ば

福井県の玄そば（収穫後の殻がついたままの実、またはその実を天日で干したもの）は、小粒で殻が薄く、中身が詰まっていることが特徴です。粘り強く香りが高いそば粉になり、コシの強い蕎麦になります。

特に、奥越地域で古くから栽培されている「大野在来」は、香りがよく食感に優れており、県在来種のなかでも代表的な品種です。



清らかに広がるそばの花

1 生産概況

① 生産地

奥越管内全域で生産されています。

作付面積は奥越全体で約900haとなっています。

②栽培の概要

品 種：大野在来

作 型：8月に播種し、10月下旬から11月中旬にかけて収穫。